

# 全国における各種競技の高体連（専門部）加盟のメリットについて

三方よし！

沖縄県ボウリング連盟常任理事（JB高体連加盟推進委員会委員）

沖縄県高体連ボウリング競技専門部委員長 小山 正樹

## 生徒・保護者にとってのメリット

※選手にとって各種大会への参加がしやすくなる

### 1. 学校の出欠や活動中の万が一の保険など

(1) 学校を欠席しなくて済む・・・出発や帰省が土日だけでなく平日までかかる場合など

・学校からの参加という形式なら公欠または出席取り扱いが可能となる

① 選手の出席関係

(2) 教育活動の一環となるため、大会参加期間中の事故やケガが保障される（学校保険が適用）

・特に各学校で部活動や同好会として発足していれば、それらの活動においては（大会参加において学校長の参加承諾印があれば）教育活動となる

② 選手の保険関係

### 2. 各種活動費の負担など

(1) 大会参加費や参加旅費について学校から補助が受けられやすくなる

①学校からの大会参加申し込みとなるため、「部費」や「PTA」からの参加費補助が受けやすい

②特に県外大会は所属校からの「旅費（移動、宿泊）」補助が受けやすい

③ 選手の負担軽減

(2) 選手がいるそれぞれの学校で部活動や同好会が立ち上がっていると「部費」や「同好会費」などがあれば、それらを活動費等に充てるなどの負担軽減の工夫ができる

### 3. 選手の競技実績（名誉・栄誉など）について

(1) 選手の活動実績として、公式記録として「所属学校の活動記録」や「高体連年鑑」などに残る

①部活動や同好会なら特に学校要覧等に記載したり、懸垂幕や横断幕での実績を掲示されたりする

②選手の進路活動に活動実績や入賞実績などが評価され進学や就職にプラスになりやすい

④ 選手の就職・進学

(2) 都道府県やスポーツ協会、高体連などの「優秀競技者（年度表彰）」などの受賞チャンスができる

⑤ 選手の名誉・栄誉

以上、選手・保護者には5つのメリットがある！

## 学校側と教師側にとってのメリット

※学校外の指導力（外部指導者）を活用して競技力向上が図れる

### 1. 選手の競技力向上が図りやすくなる（他校や異年齢との強化練習など選手の活動範囲が広がる）

### 2. 部活動や同好会があると対外試合（地方、県、地区、全国）に参加させて充実することができる

### 3. 近隣センターを通じて外部コーチ（公認コーチ、公認インストラクター等）の協力が得やすくなる

## 各種競技団体にとってのメリット

※競技人口の増加による業界の発展へ

※各種教育機関を巻き込んでの地域クラブ・地域スポーツへ発展

### 1. 各都道府県ボウリング連盟において

(1) 選手の発掘、育成、強化がしやすくなる…都道府県代表選手（国体等）の競技力向上へ

(2) 競技者の底辺拡大が期待できる…ジュニア（小、中、高）を含めて都道府県全体の競技人口拡大へ

### 2. 各都道府県の「公認ボウリング競技場協議会」や「ボウリング場協会」において

(1) と（2）については前述と同様

(3) 選手数の増加や系統的な指導体制で業界の発展につながり、ボウリング界の活性化が期待できる